

NHK 文研

BUNKEN
Broadcasting Culture Research Institute

フォーラム2017

いま考える メディアのちから メディアの役割

会場：千代田放送会館（千代田区紀尾井町1-1）

3/1 [水]

13:30

- A 東京2020オリンピック・パラリンピックへ
文研世論調査で探る東京2020への期待と意識
シンポジウム パラリンピックと放送の役割

3/2 [木]

10:00

- B 米ラジオ・オンデマンド時代の到来か？
- C 米大統領選にみるテレビメディアの変容
- D NHK全国個人視聴率調査の将来像
- E シンポジウム テレビ・ドキュメンタリーにおける“作家性”とは？

3/3 [金]

10:00

- F 台湾新政権のメディア政策
- G BBCのEU国民投票報道で考える「報道の公平性」
- H 「これからのテレビ」はどこに向かうのか？

文研HPにて2月1日(水)より申し込み受付(参加無料)

<http://www.nhk.or.jp/bunken/forum>



先着順で定員に達したプログラムより募集を締め切ります。

主催：NHK放送文化研究所

3/1 [水]

A 東京2020オリンピック・パラリンピックへ 13:30～14:05 文研世論調査で探る東京2020への期待と意識

最新の世論調査結果から、2016年リオ大会のテレビ視聴やメディア利用状況の分析とともに、2020年東京大会に関する人々の意識や価値観、メディアに期待することなどを報告します。

報告：鶴島瑞穂（NHK放送文化研究所 上級研究員）

14:15～16:45 シンポジウム パラリンピックと放送の役割 ～ロンドン・リオから東京2020に向けて～

パラリンピックをみんなで楽しみ、パラリンピックを共生社会の実現につなげていくために、放送はどう貢献できるのか。日本・英国で放送されたリオ大会の番組比較を交え、東京2020に向けて放送の役割を考えます。

基調講演・パネリスト：師岡文男（上智大学文学部教授）／パネリスト：マーティン・ベイカー（英チャンネル4）、パラリンピアン、樋口昌之（NHK2020東京オリンピック・パラリンピック実施本部副本部長）

報告：渡辺誓司（NHK放送文化研究所 主任研究員）／司会：山田 潔（NHK放送文化研究所 研究主幹）

3/2 [木]

B 10:00～10:30 米ラジオ・オンデマンド時代の到来か？ ～公共ラジオNPR「ポッドキャスト」を中心に～

アメリカでは、好きな時にコンテンツを聞く「ポッドキャスト」が改めて注目を集めています。内容も政治から科学、ドキュメンタリーまで様々です。日本の取り組みもふまえ、新時代のラジオのあり方・聞き方について考えます。

報告：柴田 厚（NHK放送文化研究所 上級研究員）

C 10:45～12:15 米大統領選にみるテレビメディアの変容 ～最新報告 ネットと融合した巨大情報空間～

アメリカでは今、ニュースに接触する手段が多様化して、既存メディアの実態も変わってきています。2016年大統領選挙における米テレビメディアの取り組みを通じて、これからの情報社会のあり方を考えます。

ゲスト：米メディア関係者など／報告：藤戸あや（NHK放送文化研究所 上級研究員）

D 13:30～14:05 NHK全国個人視聴率調査の将来像

メディア環境が激変する中、40年以上にわたり文研が実施してきたNHK全国個人視聴率調査も岐路に立っています。NHK視聴率調査の現状と課題、そして文研が進める次世代の視聴率調査の検討について報告します。

報告：中野佐知子（NHK放送文化研究所 副部長）

E 14:20～16:50 シンポジウム テレビ・ドキュメンタリーにおける“作家性”とは？ ～「制作者研究」からの問い～

制作者個人を見つめる「テレビ制作者研究」で紹介した、80歳を超えてなお第一線で活躍する3人の巨匠が集い、60、70年代の“テレビの青春時代”を駆け抜けた熱い思いや、テレビ制作者の“作家性”について語り合います。

ゲスト：田原総一郎（ジャーナリスト、元東京12チャンネル・ディレクター）、今野 勉（テレビ演出家・脚本家、テレビマンユニオン最高顧問）、相田 洋（テレビディレクター、元NHK）／コメンテーター：伊藤 守（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

報告・聞き手：七沢 潔（NHK放送文化研究所 上級研究員）／司会：原由美子（NHK放送文化研究所 研究主幹）

3/3 [金]

F 10:00～10:30 台湾新政権のメディア政策 ～公共放送の充実、財閥のメディア支配排除は進むか～

台湾の民進党新政権のメディア政策では、「公共テレビ」の理事に女性のメディア関係者が複数選出され、公共放送充実の方針が打ち出されています。また財閥のメディア買収に厳しい目を向けている点も注目されています。

報告：山田賢一（NHK放送文化研究所 副部長）

G 10:45～12:15 BBCのEU国民投票報道で考える「報道の公平性」

イギリスのBBCは、去年6月のEU国民投票にあたって独自に報道ガイドラインを作成し、公平な報道に努めました。しかし、逆に「公平すぎる」という批判も受けました。BBCの担当者とともに報道の公平性について考えます。

ゲスト：BBC報道ガイドライン担当者など／報告・司会：田中孝宜（NHK放送文化研究所 上級研究員）

H 13:30～15:20 「これからのテレビ」はどこに向かうのか？ ～存在意義の再定義に向けて～

OTTによる動画配信サービスやネットニュースの力が増す中、テレビ・放送メディアの存在意義を、事業者自らが新たな価値として社会に示すことが問われています。新サービスに関する世論調査、取材報告、対論から考えます。

ゲスト：吉田真人（総務省大臣官房審議官（放送行政担当））

報告・聞き手：村上圭子（NHK放送文化研究所 主任研究員）／報告：保高隆之（NHK放送文化研究所 研究員）